

## 中央に入ってわかったこと、変わった自分

中澤 采巳

私が千葉中央に入ったきっかけはお姉ちゃんです。

毎週、土・日曜日に姉のバレーボールを見に行っていたら、とても楽しそうにプレーをしていたので自分も姉のようになりたいと思いました。だから、お母さんに相談してみたところ、中学のバレー部顧問の先生が、『幕張西小学校でやっている小学生バレーボールチームがある。』という事を教えていただいたので行ってみました。

そこには、男子がほとんどで知らない子ばかりでした。どうしていいかわからなかったけれど‘夏菜子’という私の1.5倍くらいの背の高い女の子が居たので少し安心しました。毎週1回行くだけで、友達が一人また一人できるし、バレーボールのルールもわかってきて楽しくなりました。体験を数回経験して入部したいと思いました。

中央に入部してからは、とても小さかった声も大きく出す事が出来るようになりました。また、背が高くなりたくてきれいな食べ物も少しずつ食べるようになり、自分の考え方が大きく変わったひとつです。

初めて経験した大会ではベンチから応援で、コート内でプレーしている選手にとってもガンバッテほしいという気持で精一杯応援していました。でも、このとき一番初めに思ったことは‘レギュラーになってどんなチームにも勝ちたい’という気持ちでした。

私たちのチームではじめて三位になった『スポ少関東大会！』では、予選・決勝ともにサーブカットのミスが多く、ミスをするたびに気持ちが暗くなりはじめ、体が思うようにうごかなくなりはじめました。その時、私は大きな壁にぶち合った気持ちでした。

その後もなかなか壁を乗り越えることが出来ず、自分で悩んでいとき、高橋監督・コーチ・コート内の選手・ベンチの選手・応援をしてくれる保護者の方々が「がんばれ！次はとれるよ！」と大きな声ではげましてくれました。‘このままじゃいけない’を思いました。

このように、指導して下さる方々・仲間・保護者の方々がいたからこそ、私はがんばる事ができた実感しました。このような経験は、今までしたことのないし感じたこともありませんでした。

合宿では朝練もあり、朝・昼・晩の食事は、ご飯とおかずの量がとても多いし時間も限られていて私にはとても厳しい事ばかりでした。また、共同生活での荷物の整理整頓など自己管理がとても大切だということも良くわかりました。これもとても良い経験になりました。

私は、5年生の秋に入部してから、他の人ではなかなか経験できない事もとてもたくさんあり、自分自身のこれからの為になることばかりでした。

中学生になっても中央で覚えたこの経験を生かして色々な事に挑戦し、今までの自分よりもっと大きな人間になれるようにがんばります。入部してから今日まで本当にありがとうございました。こんな風に考える事が出来るようになったのも中央に入部し、ステキな仲間に出会えたからだと思います。

最後に監督並びにコーチの方々、保護者の方々、私をここまで支え育てていただきまして本当にありがとうございました。